

## 一般教養

アメリカのオバマ大統領の政策に関する次の文中の下線部分ア～オのうちには妥当なものが二つあるが、それらはどれか。

2008年のアメリカ大統領選挙で、民主党のバラク・オバマ候補が勝利し、2009年1月に大統領に就任した。オバマ大統領は、選挙で最大の争点となった金融・経済問題については、就任後、大規模な景気刺激策と金融安定化策を実施した。その結果、2009年には、ア 景気は急速に回復し、失業率も金融危機以前の水準にまで低下した。

エネルギー・環境政策では、イ クリーンエネルギーに投資し、新規雇用を創出する計画を掲げて取り組んでおり、また、2009年12月に開かれた気候変動枠組条約第15回締約国会議（COP15）においては、ウ EUや日本よりも高い温室効果ガス排出削減目標を掲げ、会議を主導した。

外交においては、前ブッシュ政権の方針を転換し、国際社会と協調しつつリーダーシップを回復することを外交戦略の中核に位置づけ、エ 核軍縮・核不拡散に前向きな姿勢を見せている。また、オ 選挙時からイラクとアフガニスタンの治安安定を最優先課題とし、現在、イラクにおいてもアフガニスタンにおいても駐留米軍を増強している。

1. ア, ウ
2. ア, オ
3. イ, エ
4. イ, オ
5. ウ, エ

正答 3

日本と世界の人口に関する次の記述のうち正しいのはどれか。

1. 世界人口は少子化の進行によりすでに減少傾向にあるが、日本でも2005年に出生数が死亡数を下回り、人口は減少局面に入った。
2. 少子化は日本と同様にヨーロッパの多くの国でも進行しているが、日本以外のアジアの国では、例えば韓国やシンガポールの合計特殊出生率は2.1を超えており、少子化の問題は表面化していない。
3. 日本では65歳以上人口の割合は増加し続けており総人口の約20%を占めているが、世界全体でも65歳以上人口の割合は増加傾向にある。
4. 日本の外国人登録者数は総人口の約4%を占め、欧米の先進諸国と同程度の割合にまで増加している。日本の外国人登録者を国籍別に見るとアメリカ合衆国が最も多く、次いで韓国・朝鮮が多い。
5. 都市人口割合は、先進国だけでなく発展途上国でも増加傾向にあるが、環境汚染や住宅難などの都市問題は、発展途上国ではまだ深刻化しておらず、先進国特有の問題となっている。

正答 3

あるクラスの生徒について次のことが分かっているとき、確実に言えるのはどれか。

- ・水泳が好きな人は、テニスが好きである。
- ・テニスが好きでない人は、サッカーが好きでない。
- ・野球が好きな人は、テニスが好きでない。

1. 水泳が好きな人は、野球が好きでない。
2. 水泳が好きでない人は、サッカーが好きである。
3. テニスが好きな人は、サッカーが好きである。
4. テニスが好きでない人は、水泳が好きである。
5. 野球が好きな人は、サッカーが好きである。

正答 1